

教科名	国語	科目名	現代文	単位数	4単位
学年	第 4 学年		男子 3 名	女子 9 名	計 13 名
教科担任氏名	堀内 佳幾		使用教科書	大修館 新編現代文 B	
科目の目標	・近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上をはかり人生を豊かにする態度を育てる。				

評価の観点	趣 旨	配 分
関心・意欲・態度	・国語で理解し表現する力を高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	20%
話す・聞く能力	・目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させている。。	20%
書く能力	・必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	20%
読む能力	・近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。。	20%
知識・理解	・言語文化及び言葉の特徴や決まりなどについての理解を深め、知識を身につけている。	20%

月	時間数	学 習 内 容	関・意・態	話・聞能力	書く能力	読む能力	知識・理解	評価方法
4	9	(1) 名作を読む 「山月記」						
5	10	・近代文学の名作を、登場人物の性格や心情に 着目して読み味わう。 ・小説としての着想の面白さや、独特の表現を味わう。	○	○	○	○	○	課題プリント 定期テスト
6	13	(2) 「自然」を考える 「ゴリラの思いやり」 ・生き物の生態や、現代における自然のあり方について考えを深める (3) 小説を楽しむ 「おぼろ月」 ・人情の機微に触れた小説を読み、人と人のつながりを考える。	○			○		課題プリント
7	7	(4) 伝統を受け継ぐ 「光のどけき春の日に」		○	○		○	読后感想 小テスト

8	5	日本人と桜 「殺し文句は永遠に」 恋する伊勢物語						
9	1 2	・日本の古典文学や伝統に対する興味を広げる。 ・古典の現代における意味や、日本文化の特質について、考えを深める。	○		○		○	定期テスト
1 0	1 2	(5) 短歌・俳句に親しむ 「短歌・俳句」 ・近現代を代表する短歌・俳句を読み、その表現を味わう。 ・歌人や俳人に興味を持ち、作品や人生について調べる。		○		○	○	
1 1	1 2	(6) 名作を読む 2 「こころ」	○			○		定期テスト
1 2	6	・近代文学の名作を味わい、場面の推移や登場人物の心情の移り変わりを読み取る。	○		○	○	○	読後感想 定期テスト
1	6	・作品を読み深め、自分なりの観点から作品の意義を考える。		○	○		○	